

第49回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 令和3年 9月16日(木) 13時30分～14時10分

会場 新津医療センター病院 大会議室 およびズームによる参加

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・訪問栄養指導などの際には後ろの方に記入するが、読まれているかが不明。
→付箋を貼るとかコミュニケーション欄の利用を。
- ・デイに通っている人には口腔機能向上加算をとるのに利用している。
こんな時は注意・・・など記載すれば算定可
- ・重要な指導などは是非コミュニケーション欄に記入いただきたい。
- ・薬局では持ってくる人は限られるが、バイタルなど見ている。
残薬確認など確実に見せたい情報は手帳の表紙に貼るなどしている。
- ・手帳にハートレート30回/分の記載から医療機関受診を勧め改善に至るケースを体験。
- ・摂食・嚥下シートの改訂版の利用は
利用は限定的だが、現在県で出しているシートと併用して挟み込むなどしている。

2. 連携手帳の発展的活用

- ・ACP というとハードルが高く書きにくいイメージ・・・もう少し気軽に書けないか。
- ・どういう死に方をしたいかではなくどのように生きるか。もう少し生きることについて話しをすべき。
救急現場ではタブレットを利用して受け入れ先の医療機関に情報を送るなど検討が進められている。（スワンネットの利用）
- ・ACPにおいて食については重要なところ・・・手帳が十分に使われている。
医療的にはダメでもケアであれば方法を話し合い、リスクを理解しつつ口からの食事に結びつけるなど。コミュニケーション欄は有効に使われている。

3 今後の手帳委員会の運営

次回は令和3年12月16日（木）13時30分より開催

以上